



陽気は幸せの種

陽気だより

No.90

2014.9.15

●ホームページからも「陽気だより」

最新号・バックナンバーをご覧いただけます

<http://yotokusha.com/>

図書出版 養徳社 〒632-0016 天理市川原城町 388 TEL 0743 (62) 4503 / FAX 0743 (63) 8077

養徳社

検索

昭和36年新年号から

『陽気』は、昭和24年4月の創刊、今年で65年を迎えます。過去の記事から、その歩みの一端を振り返っていきます。

ミレーの晩鐘



神尾 知

(昭和36年当時
明昇陽分教会長)

絵のうまい人は他にいくらかもあるが、ミレーの晩鐘ほど、全国津々浦々、あらゆる階層の人に親しまれているものは少ないであろう。構図とか色彩というような専門的なことは別として、この絵には宗教的な要素が多分に含まれている。

夕やけ空にたなびくやわらかい雲。田園にたたずむ一組の夫婦が、しばし農耕の手を休めて、はるか遠くよりきこえてくる教会の鐘の音に、敬虔な祈りをささげているこの絵から、いろいろなものを学びとることができる。

動物は、本能のおもむくまま、食うために動き、種族保存のためにたたかう。人間が己の欲望のためにのみ生きて

いるならば、動物と何らえらぶところが無い。人間の行動には高い情操がともなう。はたらくということばの意味は、はたはたに楽をあたえるということである。真のよろこびは、外からあたえられるものではなくて、世のため、人のために、真実をささげきつたときに、内からわきおこるものである。

天体は休みなく運行をつづけている。人体の血液はよどみなく流れ、細胞はたえず新陳代謝を営んでいる。動いてやまぬこの流転の姿こそ、生命の本態である。人体は動くことによって宇宙のリズムに乗り、心臓の鼓動も、肺の呼吸作用も、音楽的なリズムをもってくりかえされている。



その調子の乱れが病気である。はたらくとは、自分のためでもなければ、人のためでもない。生かされているという喜びから、内なる生命の躍動として、自然にあらわれてくる身の動きであり、しかも、動けば動くほど心はますます勇んでくる。これを教祖は「ひのきしん」とよんで、これが

陽気ぐらしへの道であると教えられた。

一日のはたらきを終えた二人の心には、いいしれぬ健康のよろこびがあふれているであらう。

ミレーの画いた人物が、もしも一人であったり、大勢であったとしたらどうであらう。おそらく絵の感じが変わって

新刊発売

マンガ おびや許し

「おびや許し」をいただく方に。



作画…金巻とよし
脚本…山岡美秀

A5判 28ページ
フルカラー
定価=200円+税



図書出版 養徳社 〒632-0016 天理市川原城町 388
TEL0743-62-4503 FAX0743-63-8077

くるのではないかと思う。
天地だきあわせのなかに一
さいのものが育ち、火と水の
調和によって物ができる。夫
婦の和合によって家庭がなり
たち、家業が栄える。
教祖は「このよのぢいとて
んとをかたどりて ふうふを
こしらへきたるでな これハ
このよのはじめだし」と、陰
陽の理にもとづく宇宙根本の
原理を示し、さらに、「ふたり
のこゝろををさめいよ なに
かのことをもあらはれる」と、
ものごとのなりたつ道を教え
られた。

たやすく一つ心になり得るも
のではない。せめて信仰を同
じくし、共に祈るそのときだ
けは無条件に一つの心に結ば
れる。たとえ一日に一回でも、
そうしたひとときを持つこと
が、人生にどれだけプラスに
なることか。ひとり寂しく暮
らしている人や、夫婦一緒に
住んでいても、ちぐはぐな気
持でいがみあっている人たち
からすれば、この絵はうらや
ましくみえるであろう。
私たちの日々の生活は祈り
である。全生涯を土に生きる
素朴な二人の姿こそ、大地へ
の祈りである。
太陽の美しさは朝日よりも
夕日にあるという。ものごと

すべて始めがあれば終りがあ
る。正月があれば大晦日もあ
る。大晦日を通りぬけてこそ
よき正月を迎えることができ
る。生きとし生けるもの、生
あれば、かならず死がある。
立派な死にかたをすることが
永遠の生命に生きることであ
り、同時に、現実をよりよく
生かすことである。
教祖は、死ぬことを出直し
と仰せられ、古い着物をぬい
で新しい着物にきかえるよう
なものだと教えられた。夕日
も墓場も、決して暗い淋しい
ものではない。二人は、ゆる
やかにひびく晩鐘の余いんに
明るいあすへの希望をみいだ
すであろう。

『陽気』定期購読

お 店まで買いに行くのが大変。
忙しくて購入するのを忘れた。
定期購読はそんな手間を省きます。

毎月20日前後にご自宅宛に発送いたします。
(例: 10月号は9月20日ごろ)

まずはお問い合わせください。

【定期購読料金】
1年分…3,420円(送料込)



購読に関する問合せ先 ☎ 0120-920-398 養徳社 業務部窓口

作家・出久根達郎 作
月刊『陽気』連載小説

まほらま

特設サイト公開中!!

◎筆者出久根達郎氏のメッセージをはじめ、これまでのあらすじや立ち読みなど、『陽気』本誌と連動したコンテンツを随時配信。

<http://mahorama.yotokusha.com/>
陽気 まほらま 検索

Facebook で最新情報をチェック! <https://www.facebook.com/yotokusha>

この「陽気だより」を支部例会などの折、広く養徳社からのお知らせとしてご利用くださいますよう、お願い申し上げます。
 <書籍・陽気のご購入方法について>前払いでお願いしております。お近くのゆうちょ銀行に備え付けの振込用紙をお使い頂き、[住所、氏名、電話番号、書名(陽気希望月号)、冊数]を明記の上(振替口座番号00990-3-17694番 加入者名(株)養徳社)へご送金ください。手数料はお客様負担となります。ご入金を確認後、速やかに商品を発送させていただきます。ご不明な点は養徳社までお問い合わせ下さい。フリーダイヤル0120-920-398 養徳社 業務部